



四 気 折 々

川越町立川越中学校
「学校だより」第5号
令和5年4月23日
川越中学校に「校内適応教室」が開設されます。

四気=川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」

学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと

【令和6年度の「重点となる取組」をはじめます】 川越中学校 校内サポートルーム（仮称）を

5月中旬以降から開設します。

『川越中学校に在籍する生徒で、さまざまな理由により「学校に行きたいけれど、なかなか行けない」、「教室に入りたい気持ちはあるけど入れない」などという思いをかかえる子どもたちに学習面・生活面での適応と自立を促し、教室に入れること、「～なろうとする姿や思い」を大切に支援する部屋のことをいいます』。

「校内サポートルーム（仮称）」の支援と指導のお手伝いをさせていただくのが、「出口 好樹（でぐち よしき）先生」です。昨年度まで川越北小学校の校長先生として子どもたちにあたためた関わりをさせていただいた先生です。また、川越中学校で中心的な立場で関わっていただく先生は、「小林 麻美（こばやし あさみ）先生」です。出口先生、小林先生、これからお世話になります。よろしくお願い致します。また、川越中学校の多くの先生も校内サポートルームに関わります。



【 出口 好樹 先生 】からみなさんへメッセージ

今、全力で走っている。一歩ずつ歩んでいる。立ち止まって一息ついている。

歩き出す準備をしている。どこに向かうか探している。みんな、それぞれのところで精一杯生きています。

『 今 いるところからスタートしよう 』。

サポートルームでは、ゆっくり、ゆったりとエネルギーを蓄えていきましょう。自分のやりたいことを考えたり、決めたりしながら、ひとつひとつを確かめながら、ていねいに進んでいきましょう。

1 川越中学校 『校内サポートルーム（仮称）』とは・・・どんなところ？！

① 【設置目的】

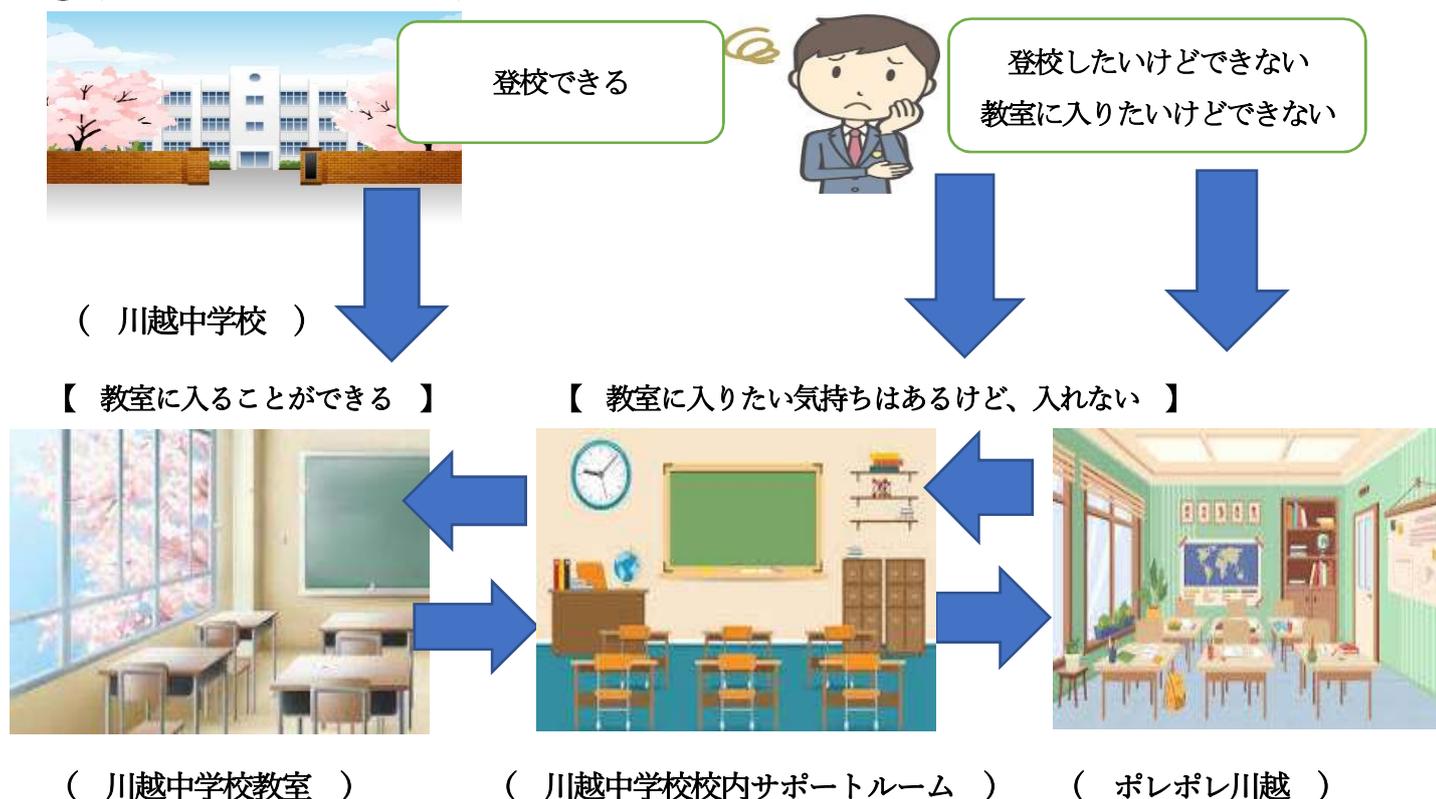
川越中学校では、いままで「学校に行きたいけれど、なかなか行けない」、「教室に入りたい気持ちはあるけど入れない」などという思いを持つ子どもたちに対して、学校全体の組織として「別室での授業」は基本的には実施していませんでした（個別での関わりは大切にしてきましたが・・・）。

このような思いや悩み、不安をかかえる子どもたちに対して、川越中学校の組織としてかわり、一人一人の生徒に対するきめ細やかな教育（誰も一人にしない教育）を支援や自立を考える教室とすることを目的とします。

- ② 【 校内サポートルームで大切にしたいこと（・・・なろうとする姿を大切に）】
- 1 校内サポートルームを教室に入れるようになるために「計画的に」活用できるようになろうとする生徒。
 - 2 「学習や活動」の意思表示ができるようになろうとする生徒。
 - 3 「自分で学習」を進められるようになろうとする生徒。
 - 4 校内ふれあい教室で取り組んだ「学習・活動の振り返り」ができるようになろうとする生徒。

校内サポートルームは、実際に学習や活動を通して、子どもたちの意欲や達成感を感じさせる場として、安心して取り組むために必要な条件「・・・なろうとする姿を大事にする」教室です。

③ 校内サポートルーム設置に関わるイメージ



■平成25年に設置された『ポレポレ川越』(川越町不登校支援事業)の支援活動(利用)も継続して行いながら、「学校に生きたいけれど、なかなか行けない」子どもたちの選択肢を広げるひとつとして、「川越中学校校内サポートルーム」が位置付けられます。もちろん「ポレポレ川越」に通えなくても、川越中学校校内サポートルームだけの登校でも大丈夫です。

④ 校内サポートルームの場所はどこになるの?!

川越中学校南館1階の「現相談室1」が校内サポートルームになります。

⑤ 校内サポートルームでは、どんな活動をするの?!

「1日の活動予定作成」「自主学习(教科担当の先生がいます)」と「小集団活動・学習(技術・家庭・体育など)」、「道徳」、「一日の振り返り」。そして、「教育相談」などを中心に考えています。

「校内サポートルーム」の詳細(手続きや具体的な内容など)は、あらためて文章等でお知らせします。